２０２７年３月期
第２四半期（中間期）決算説明資料

株式会社ヒップ

（証券コード：2136）

２０２６年１１月４日

Hybrid Innovation Project

２０２７年３月期　第２四半期
業績概要

Hybrid Innovation Project

２０２７年３月期 第２四半期(中間期)決算のポイント

Hybrid Innovation Project

外 部 環 境

・製造業を中心とする主要顧客企業では、積極的な開発投資を継続。
・外部環境の変化からお客様の一部では開発体制の見直しなどが見られる。
・全体としてニーズは堅調なものの、業界や企業によって需要の強弱が分かれる。

業績の概況・トピックス

■技術料金の上昇が順調に進み、売上高は増収。

■技術者の質を高める配属の推進や、顧客動向の変化から稼働率が前年を下回る。

■人への投資継続による原価増、稼働率の低下により、営業利益は微減。

■期初予想比では利益面は達成したものの、売上高は計画に届かず。

２０２７年３月期 第２四半期（中間期） 決算概要

Hybrid Innovation Project

前年同期比	売上高 ↗	技術料金の上昇。
	利益面 ➡	人への投資継続による売上原価増。稼働率の低下による原価率上昇。
期初予想比	売上高 ↘	稼働率の伸びが想定よりも緩やかになり、稼働人員数が計画未達。
	利益面 ↗	経費の効率的な活用。

(百万円)	２０２６年３月期 第２四半期 (金 額)	(構成比)	**２０２７年３月期 第２四半期 (金 額)**	**(構成比)**	増減額	増減率	期初予想 第２四半期 (金 額)	予想比 増減率
売上高	**3,078**	**100.0%**	**3,129**	**100.0%**	+50	+1.7%	3,168	△1.2%
売上原価	2,403	78.1%	2,472	79.0%	+69	+2.9%		
売上総利益	675	21.9%	656	21.0%	△18	△2.7%		
販管費	414	13.5%	403	12.9%	△11	△2.7%		
営業利益	**260**	**8.5%**	**253**	**8.1%**	△7	△2.7%	236	+7.0%
経常利益	**263**	**8.6%**	**266**	**8.5%**	+2	+1.0%	244	+9.0%
中間純利益	**181**	**5.9%**	**180**	**5.8%**	△0	△0.3%	165	+9.3%

技術者数

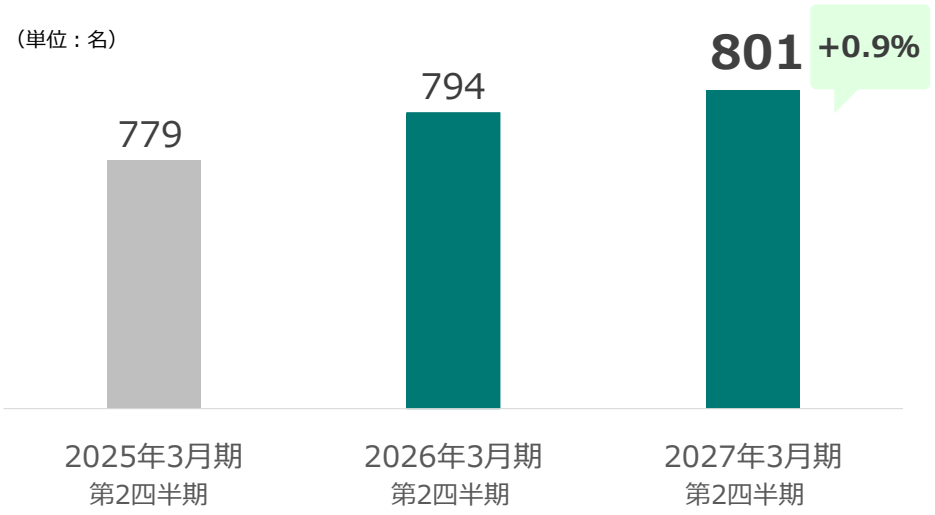
Hybrid Innovation Project

2027年3月期 第２四半期

801 名
（前年同期比 +7名）

中長期的成長へ向けた質を重視した採用基準を維持。
多様な顧客ニーズに応える技術者採用を促進。

（単位：名）



2027年3月期
第2四半期

採用実績　52名

4月新卒　40名

中　途　12名

稼働率（2025年4月～2026年9月）

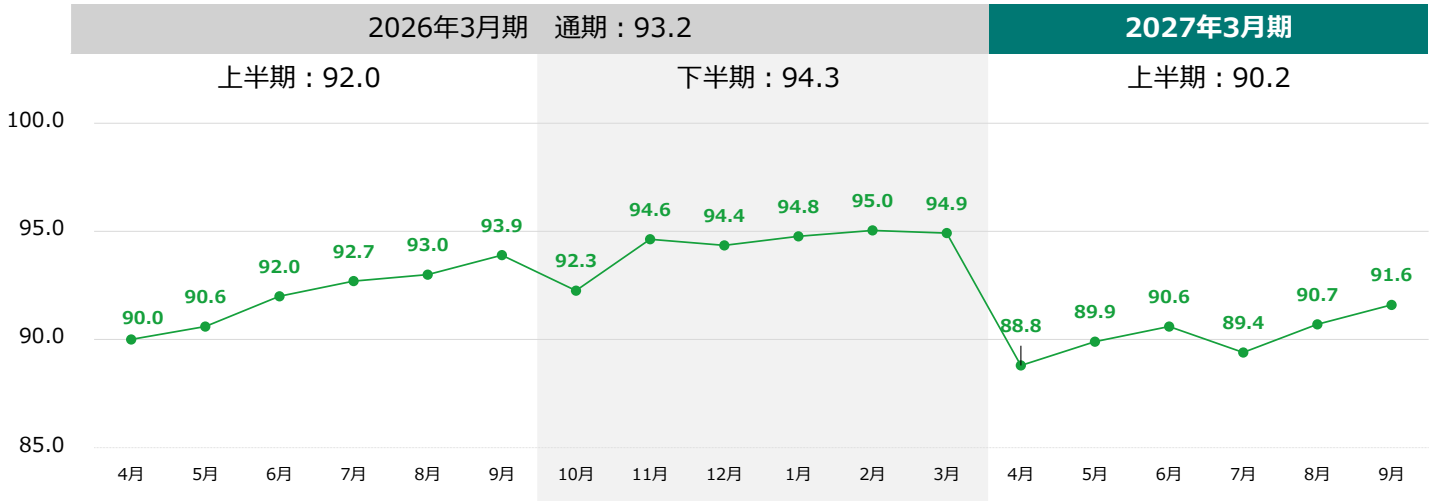
Hybrid Innovation Project

2027年3月期 第２四半期

90.2 %
（前年同期比 △1.8ｐ）

平均90%以上を維持も昨年からは低下。

減少要因
①一部業種に慎重姿勢（主にシステム分野）
②技術者の成長に繋がる「質の高い配属」の継続



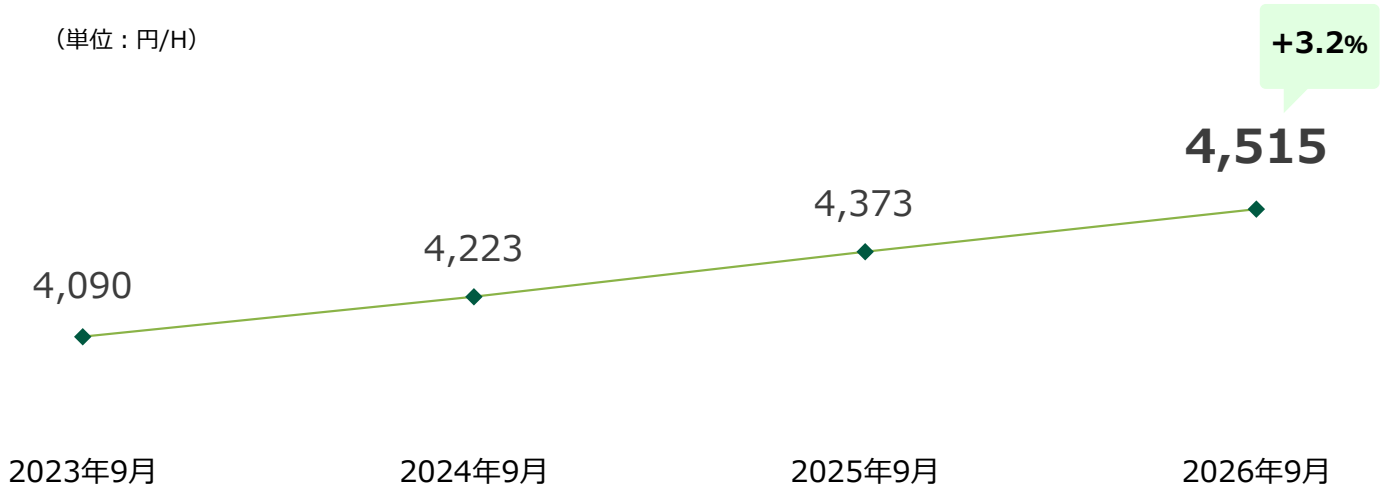
※稼働率(%)＝稼動技術者数/技術社員総数＊100

技術料金

Hybrid Innovation Project

2027年3月期 第２四半期	4,515 円 （前年同期比 +142円）	技術者価値、サービス品質を高める取組みと、丁寧なコミュニケーションに基づく契約交渉を継続。

（単位：円/H）



※技術料金 （1時間当たり）＝アウトソーシング事業 売上高/総稼働時間

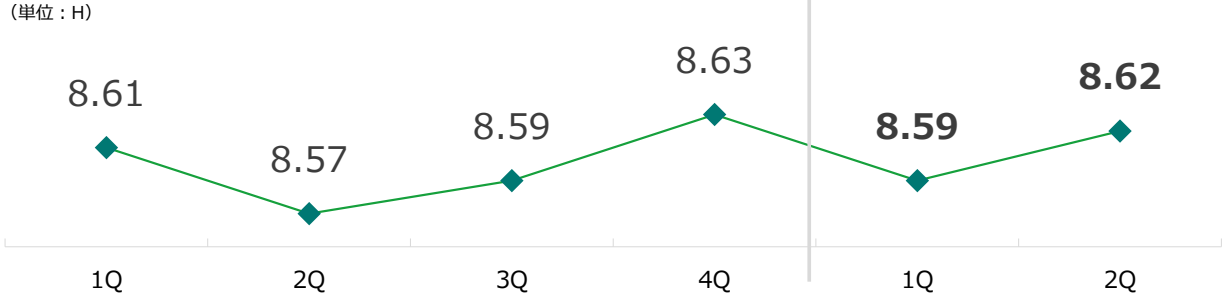
稼働時間

Hybrid Innovation Project

2027年3月期 第２四半期	8.60 H （前年同期比 +0.01 H）	顧客状況により変化する指標。近年は8.5H～8.7Hの間で推移。

2026年3月期 第2四半期（平均）	2026年3月期 通期（平均）	2027年3月期 第2四半期（平均）
8.59H	8.60H	**8.60H**

（単位：H）

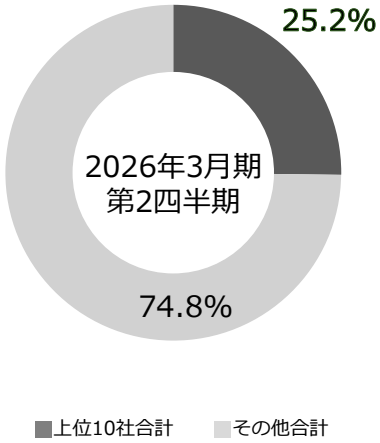


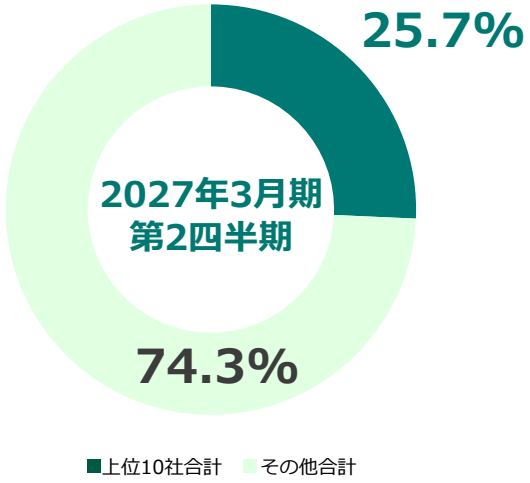
※稼働時間＝1人1日当たりの平均稼働時間

売上高構成①（上位10社 比率）

Hybrid Innovation Project

2027年3月期 第２四半期	25.7 % （前年同期比 +0.5 p）	上位比率は0.5ポイント上昇も大きな変動なし。 技術者の成長へとつなげていくため、 幅広い取引先への拡大を推進。





売上高構成②（事業分野別）

Hybrid Innovation Project

- 産業用機器・半導体製造装置への展開が進み、機械関連が大きく増加。
- 情報通信機器では一部顧客での開発体制見直しの影響もあり、前年同期比で減少。

（売上高：百万円、構成比：%）	2026年3月期 第2四半期 （金　額）	（構成比）	**2027年3月期 第2四半期** （金　額）	（構成比）	前年同期比 増減率	構成比差異
輸　送　用　機　器	940	30.6	**963**	**30.8**	+2.4	+0.2
電気電子機器・半導体	432	14.0	**435**	**13.9**	+0.8	△0.1
情報通信・精密機器	515	16.7	**472**	**15.1**	△8.4	△1.6
機　　械	393	12.8	**423**	**13.5**	+7.7	+0.7
情報処理・ソフトウエア	797	25.9	**835**	**26.7**	+4.8	+0.8
合　　計	3,078	100.0	**3,129**	**100.0**	+1.7	-

２０２７年３月期　通期業績予想

Hybrid Innovation Project

2027年3月期　通期業績予想

Hybrid Innovation Project

顧客動向には注視が必要なものの、全体的には専門スキルを持つ技術者ニーズは堅調。
当社全体の質を高める施策を継続しつつ、通期予想の達成を目指す。

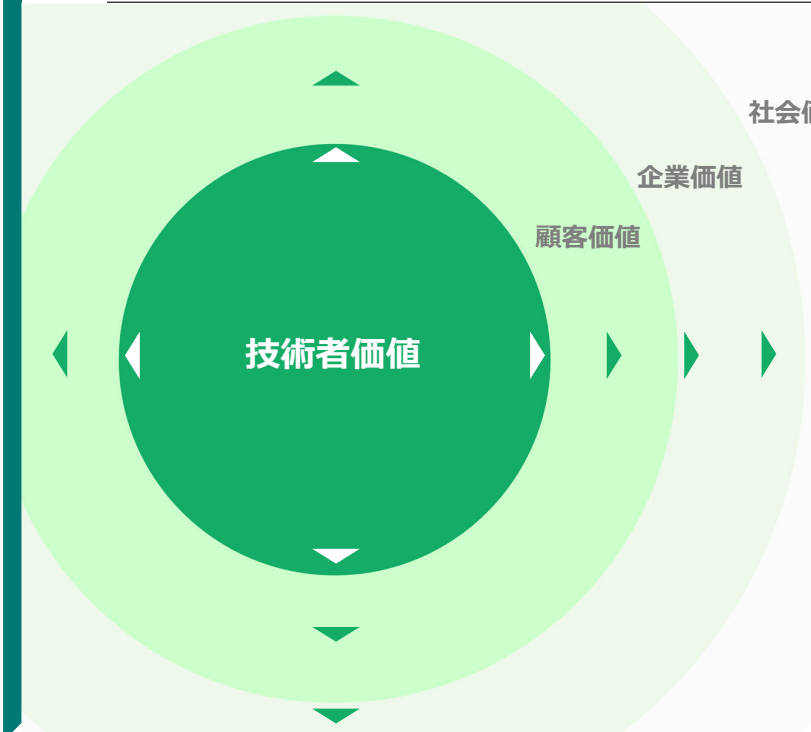
(百万円)	2026年3月期 (金　額)	(構成比)	2027年3月期 (金　額)	(構成比)	増減率
売上高	**6,193**	100%	**6,492**	**100%**	+4.8%
営業利益	**572**	9.3%	**600**	**9.2%**	+4.7%
経常利益	**580**	9.4%	**615**	**9.5%**	+6.0%
当期純利益	**432**	7.0%	**417**	**6.4%**	△3.6%

業績予想の前提条件

	2026年3月期	**2027年3月期**	前期比
稼働率	93.2%	**93.9%**	+0.7ｐ
稼働時間	8.60H	**8.59H**	△0.01H
採用数	63名 25年4月新卒：38名 中途：23名 10月新卒：　2名	**78名** **26年4月新卒：40名** **中途計画(10月新卒含む)：38名** **※第2四半期中途実績：12名** **26年10月新卒：　3名**	+15名 新卒：+2名 ※中途：＋13名 ※10月新卒含む増減数
新卒採用数	（26年4月新卒実績）40名	**（27年4月新卒計画）50名**	+10名

２０２７年３月期の取り組み

持続的成長へ向けた基本方針



技術者価値の向上 を起点とし、

顧客価値
企業価値 の向上 を図る
社会価値

2027年3月期の成長戦略と進捗

「プロ集団としての質を高める」取り組み

	期初目標	進捗状況
価値観の共有	・価値観の行動への落とし込み ・組織文化への昇華 ・新人事制度の導入 ・本質的価値を高める	・7/1 新人事制度スタート ・社内報/社内SNSでMVV実践例の共有
技術者価値向上	・業務確保・ローテーション ・育成体制のブラッシュアップ ・早期活躍の基盤構築 ・一定基準を維持した採用	・大手やスタートアップとの取引開始 ・段階別研修の実施、新研修の導入 ・数だけを追わない基準維持した採用
顧客満足向上	・顧客との連携強化 ・現場サポートの徹底 ・営業スタッフの増員と育成 ・情報共有の強化	・満足度アンケートの実施 ・質の向上に向けたフィードバック
コミュニケーション強化	・社内外への情報発信力の強化 ・ステークホルダーとの信頼構築 ・専任部署の新設	・7/1 ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ室を新設 ・価値観共有に向けた社内発信 ・対外発信へ向けた準備

株主還元について

Hybrid Innovation Project

自己株式の取得

Hybrid Innovation Project

2026年11月4日開催の取締役会において自己株式の取得を決議

※2026年11月４日付「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」にて公表

■ **取得理由：** 経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行に備えた取得

■ **取得に係る事項の内容**

（１）取得対象株式の種類	当社普通株式
（２）取得し得る株式の総数	80,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.10%）
（３）株式の取得価額の総額	130,000,000円（上限）
（４）取得期間	2026年11月5日から2027年11月4日
（５）取得方法	東京証券取引所における取引一任契約に基づく市場買付

前年と同規模

※ご参考：2026年9月30日時点の自己株式の保有状況　170,109株

配当金について

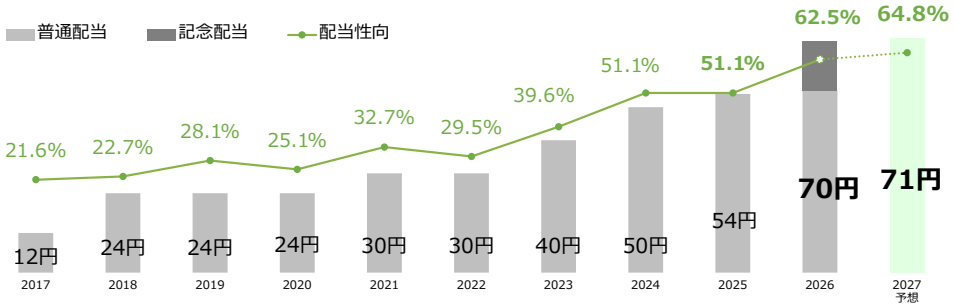
利益配分に関する基本方針

財務の健全性と成長投資のバランスを考慮しつつ、
配当性向50%を目安に、累進的配当を目指す

	2026年3月期		2027年3月期（予想）	
配当金	前期比 ＋16円 普通配当 55円+創立30周年記念配当 15円	**70円**	前期比 ＋1円	**71円**
配当性向		62.5%		64.8%
総還元性向		90.6%		64.8%＋α

※自己株式の取得
（2026年3月期実績）

取得株数	80,000株
取得金額	125百万円



本資料について

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
また、本資料は2026年11月4日現在のデータ等に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または、約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので予めご了承ください。

お問合せ先	株式会社ヒップ　コーポレートコミュニケーション室　IR担当 TEL:　045-328-1000　/　E-mail:　ir@hip-pro.co.jp URL:　https://www.hip-pro.co.jp